



BUTSURYO SHINBUN

建学の精神

之科學為報國修

【CONTENTS】

- P.1 学長挨拶
- P.2 2022年度オープンキャンパス
- P.3 物療祭・卒業研究発表(ポスターセッション)
- P.4 理工学実験・放射線技術学実習
- P.5 臨床実習を経験して
- P.6 就活インタビュー
就活ガイダンス
- P.7 2023年度一般選抜概要
2023年度オープンキャンパス

大学HP



公式LINE





大阪物療大学 学長
田中 博司

学長挨拶

あけましておめでとうございます。

学長の田中です。

一昨年に続き新型コロナウイルス感染症のため、全世界が引き続きマヒ状態になっておりますが、少しずつ回復のきざしが見えてまいりました。

こういう時こそ真の医療人が必要です。一人一人の力を結集して有効な対策が可能のように学生時代に充分研鑽し、建学の精神「之科學為報國修」の初心にかえり、今できる事をしっかり見つけて、モットーである「自分の身体は自分で守る」を実践して下さい。よろしくお願いします。





※今年度のオープンキャンパスでは、基本的な感染症拡大防止措置を取りながらの開催となりました。撮影時のみマスク等を外しております。

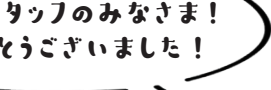
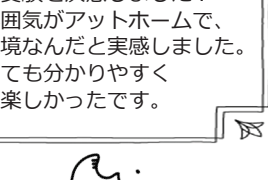
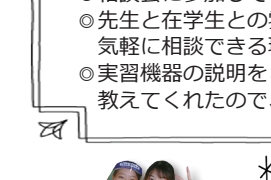
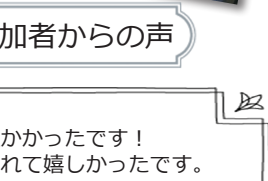
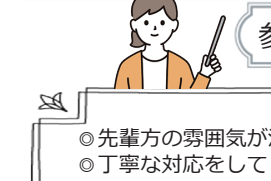


2022年度 オープンキャンパス

4/17 5/15 6/5 7/17 8/21



2022年、大阪物療大学では、全5回のオープンキャンパスを開催し、多くの高校生が参加してくれました。本学1号館内にある実習機器等の体験や、施設見学、入試や実際の学校生活のことを直接聞くことができ、在学生との相談会を実施しました。今回は、全5回で総勢71名の在学生が、当日の実習機器の説明や、在学生との相談会に参加し、オープンキャンパスを大いに盛り上げてくれました。



参加者からの声

- ◎先輩方の雰囲気がかかったです！
- ◎丁寧な対応をしてくれて嬉しかったです。
- ◎相談会に参加して、受験を決意しました！
- ◎先生と在学生との雰囲気がアットホームで、気軽に相談できる環境なんだと実感しました。
- ◎実習機器の説明をとっても分かりやすく教えてくれたので、楽しかったです。





オンライン 物療祭



10月21日(金)オンライン物療祭が開催されました。学長によるオープニングに続き、午前中の卒業研究発表(ポスターセッション)に始まり午後のビンゴ大会へと続きました。

卒業研究発表は概ね好評で、全教員による評価の結果、学長賞1件、学科長賞2件、ポスター賞3件の表彰が決まりました。

午後からは、去年はクイズ大会にビンゴ大会と欲張り、予定よりも少し長引いてしまった為、今年はビンゴ大会のみとしました。滞りなく進み、予定よりも早い終了となりました。1つに絞ったのが裏目に出ってしまったようです。

オンラインでの開催は本学HPの在学生ページに特設サイトが開かれ、クリック1つで自由に参加できるスタイルとなっています。来年度以降、対面での物療祭に戻す際、対面形式での運営を知らない自治会メンバー・教職員で運営することになりそうです。

最後に、準備に奔走していただいた施設課情報担当、学生課の職員の方々に御礼申し上げます。そして何より自治会メンバーは企画・準備・運営で大変お疲れさまでした。NO.22の物療新聞への投稿文は「来年はアリーナでお会いしましょう」で結びましたが、残念ながら叶いませんでした。来年こそはアリーナでお会いしましょう。



自治会メンバー Q&A ~

オンラインでの物療祭で大変なことは？

- 反応が見えないので、司会進行が難しかったが、先輩と協力してやることができた(井高さん)
- ◆オンラインでは学生が楽しめる要素がどうしても少なくなってしまうため、オンラインでも参加しやすいように、効率よく進められるようにという2点を主に考え、取り組みました(水戸さん)
- ビンゴ大会をどう進めていくか考えるのが大変でした(不藤さん)



自治会に入ろうと思った理由は？

- 勉強とバイト以外の活動を通して成長したいと思ったから(水戸さん)
- ◆イベントの企画・運営に興味があり、先輩や後輩との繋がりも欲しかったから(田口さん)

物療祭を振り返って、どうだった？

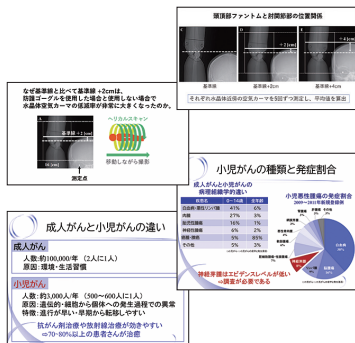
- ◆特に大きな問題もなく、無事に終わったことが何よりもよかった(吉田さん)
- 友達と協力してできたので楽しかった！(米田さん)

皆さんへコメント！

- ◆今年もオンライン開催でしたが、楽しんでいただけたでしょうか？来年はもっと楽しんでいただけるような物療祭にしたいです！(田口さん)
- 楽しかったです。ありがとうございました！(吉田さん)



卒業研究発表 (ポスターセッション)



本学では3年次生の後期から4年次生の前期にかけて卒業研究が行われます。各指導教員の研究室にはそれぞれ2~6名の学生が配属され、教員の専門分野に関係した様々な分野の研究活動が行われています。そして、その集大成としての卒業研究発表会が、ポスターセッションとして、物療祭にて行われました。今年もオンライン開催となりましたが、20件の研究成果が披露されました。

それぞれのポスターは、本学HPの在学生ページにある特設サイトに掲載され、クリック1つで閲覧できます。参加者は興味のある研究発表を自由に選び、発表会場(Zoom)へ参加し、先輩のプレゼンテーションをリアルタイムで視聴することができました。

去年のアンケートで「発表間の時間が長すぎる」との指摘があったことをふまえ、今年は発表と発表の間の時間を去年より短くし、発表回数を多くしました。発表する4年次生は大変だったとは思いますが、皆さん発表に集中できていたようです。

4年次生にとっては研究成果を発表する格好の機会になり、後輩学生にとってはどのような卒業研究があるかを知れ、4年次生になった時にやりたいことを描ききつかったなれたと思います。

→光の二重性・回折・干渉→



ペーパー
クロマトグラフィ↓



←霧箱



直通回路の基礎←



←交流回路



←放射線計測←

理工学実験

1年次生

理工学実験は、1・2年次生で学ぶ『放射線物理学』『医用工学』『放射化学』『放射線計測学』の理解をより深めることを目的とした実習講義です。3年次生後期の臨床実習に向けた本学カリキュラムの一連の実習講義の第一歩として位置付けられている非常に重要な科目です。実習講義を受ける事で、高校までの『生徒』ではなく、大学での『学生』としての学びが本格的に始まっていきます。この学びは最終学年である4年次生での卒業研究へと繋がるとても大切なものです。

1年次生後期に理工学実験Ⅰが、2年次生前期に理工学実験Ⅱが開講されます。それぞれの実習では、少人数のグループでテーマに沿った実験を通して理論の確認・検証を行い、基礎知識の習得・習熟を目指します。また、グループ内でのディスカッションを通して能動的に問題解決を行う事で、チームの一員としての協調性やリーダーシップ・コミュニケーション能力の獲得を目指します。更に、これらの体験をレポートとしてまとめる事で、文章作成能力を養います。



無散瞳眼底撮影→



超音波装置の↓
基本操作



散乱線含有率の→
測定



↓VRを用いた撮影体験



一般撮影↓



↓バイタルサイン実習



PICK UP!

「バイタルサイン測定」の実習では、生命兆候を把握するために体温、脈拍、呼吸、血圧、経皮的酸素飽和濃度、瞳孔反射の測定方法を学びます。お互いに測定し合いながら血圧のコロトコフ音に驚いたり、瞳孔の対光反射に感嘆しながら医療人としての基礎的な実技を修得します。

精度管理
マンモグラフィ←



放射線技術学実習

2年次生

2年次生後期の放射線技術学実習では、学内に設置されている機器を操作しながら、X線発生装置の使用法や動作原理に加え、主にファントム（模擬人体）を用いながら、CRを使用した単純X線撮影（頭部・四肢・脊椎）、FPDを使用した上部消化管検査、X線CT検査、超音波検査、無散瞳眼底撮影、VRを用いた撮影体験など、様々な撮影技術を学びます。また、一般撮影装置による散乱線含有率の測定や乳房撮影装置を使用した平均乳腺線量の測定など、性能評価の基礎についても学びます。さらに、解剖学の知識を身に付ける基礎医学演習、心電図12誘導やバイタルサインの測定などの看護学領域についても学びます。

実習内容および結果についてレポートにまとめて考察することで、体系的に理解を深めるとともに、理論を実践に応用することができるようになることを目指しています。また、3年次生後期に行なわれる臨床実習に向けて、身だしなみや言葉遣い、コミュニケーション能力など、医療人としての心構えについても学んでいきます。



3 年次生に聞きました！ 「臨床実習を経験して」

- ①実習先ではどんなことを行っていますか？
- ②実習に行く前に抱いていたイメージとのギャップはありますか？
- ③学内の授業は活かされていますか？それはどんな授業ですか？
- ④「ここはもう少し学んでから実習に行くべきだった」と思う点はありますか？
- ⑤今後の課題は？
- ⑥後輩の皆さんへアドバイス



- ①各モダリティを順に回り、実習を行っています。見学だけでなく、患者様の呼び入れやポジショニングをすることもあります。
- ②実習前：見学がメインだと思っていました。実習後：実際に装置の操作や、患者様の接遇などを行っています。
- ③「X 線画像機器学Ⅲ」
CT 装置の原理や解剖が活かされていると感じました。
- ④解剖（特に画像解剖）がどのモダリティでも必要と becoming するため、もう少し学んでから行くべきでした。
- ⑤疑問点があればもっと積極的に質問して、理解を深めたいです。
- ⑥実習中は大変だと思いますが、気を張りすぎずに頑張ってください！興味を持つほど楽しめると思います。

野木 翔さん
大阪府立堺東高等学校 出身



臨床実習期間中、月に1度学内に集まり、
パワーポイントを使用し、報告会をしています！



2022.10.18 3 年次生 報告会の様子



- ①各モダリティの検査や治療に関して質問を受けたり、質問をしたりしています。また、実習先の診療放射線技師の指導の下で一部の準備や解析をさせてもらっています。
- ②実習前：忙しい為、堅い空気で業務に集中しており、話してもらう事は難しいのではないかと感じていました。実習後：忙しいが、隙間の時間に検査について優しく教えてもらう事が出来ています。
- ③「撮影技術学」
撮影法について臨床現場ではどのように異なっているのか、教科書的なポジショニングが困難な場合にどう対処するべきかを考える際に、基本的な撮影法でのポイントを押さえる為に必要であると感じました。
- ④疾患の略語・知識などの基礎的な医学知識
- ⑤基礎的な医学知識を身につけ、詳しく解剖学について学習することと、各検査について描出すべきポイントをあらかじめ調べておくことが課題です。
- ⑥積極的に質問をすることで、実習先の皆様から、より話しかけてくれるようになります。

羽根 由純さん
大阪立牧野高等学校 出身



- ①新型コロナウイルスの関係で患者様への接遇などはできませんが疑問点に対する質問、プリントでの課題、検査や治療の準備などを行っています。
- ②実習前：知識不足に対する不安がありました。実習後：教えていただいたり実際に検査や治療を見て理解を深めることができました。
- ③どのモダリティでも解剖や機器学的なことはよく質問されました。
- ④医療英語はよく会話の中やカルテの中で見ました。そのため、略語を正式な名称と結びつけれるようにする必要があったと感じました。
- ⑤検査や治療の内容に対する予習復習はもちろんのことであり、質問に答えることのできる知識をつけることが課題です。
- ⑥就職する前にさまざまなモダリティに触れることのできる機会は少ないと思います。僕自身、非常に貴重な経験になりました。頑張ってください！

百瀬 光希さん
金光大阪高等学校 出身





4年次生に聞きました！ 就活インタビュー

①診療放射線技師になりたいと思った理由はなんですか？

祖父が前立腺がんを患い、放射線治療を受けたことがきっかけです。それ以前は、癌を直す方法は手術しか知りませんでしたが、体を切らずに癌を治療できる、痛みを伴わずに検査を行うことができる、という放射線を用いた技術を知り、非常に感銘を受けました。医療従事者になりたいという思いをずっと抱いておりましたが、放射線技術を知ったことで自身も放射線を用いた治療、検査に携わりたいと考え、診療放射線技師を志しました。大学に入學してからは、授業を通し、救急撮影や DMAT・災害医療に興味を持つことができ、現在は、救急医療に携わって、1人でも多くの患者様を救う一翼を担いたいと考えています。

②就職志望先はいつ頃、どのようにして決めましたか？

私は9月から10月ごろにかけて、大阪物療大学のHPにある就職支援システムを利用し、自分の興味のあるモダリティの有無、病院の規模に関して調べ、さらには担任（研究室）の先生や、就職委員長の方に尋ねて、就職志望先を決めました。私は救急医療に携わりたいと考えていたため、大阪府や兵庫県の三次救急病院を調べ、その中で、自宅からの距離を考慮したり、病院の雰囲気や自分に合っているかを先生方にアドバイスして頂き、就職試験を受ける病院を選びました。また、臨床実習の際に、その病院の方に、自分が興味を抱いている病院に関することや、就職活動に関してのアドバイスを頂いたりもし、参考にさせて頂きました。

③大阪物療大学の就職サポート、どんなことが役立ちましたか？

先輩方の就職試験受験報告書が非常に役に立ちました。病院見学には事前に伺わせて頂きましたが、面接の雰囲気までは分からなかったため、報告書を拝見し、面接の雰囲気や、面接で尋ねられること事前に調べ、その回答を考えておきました。面接では報告書と同じ質問をされることも多くあり、対策が非常に役立ちました。また、定期的に学生課から就職活動の流れについてのメールを頂くので、就職活動に関して知ることができスムーズに就職活動を進められました。

④後輩の皆さんへのアドバイスをお願いします！

初めての就職活動で、分からないことばかりだと思います。まずは、自分の興味のあるモダリティが何であるかをピックアップし、病院の規模についても調べてみるといいと思います。ただ、先生方もよく仰られますが、内定を頂けるかは縁なので、自分の就職したい病院に就職できるとは限りません。最後まで諦めず、目標を持って取り組む姿勢が大切です。そして、困ったときや悩んだ時は、担任の先生や就職委員長の先生を訪ねましょう。就職活動だけでなく、勉強に関することや、メンタルに関しても不安なことを普段から相談し、先生とよくコミュニケーションをとっておくことは非常に大切です。私も先生方には、言葉では表現できないほど、大変お世話になりました。面接では、笑顔、元気、ゆっくり話すことを心がけ、自分の思いを思う存分伝えてください。

⑤今後の意気込みをどうぞ！

私は救急医療に携わり、目の前で苦しんでいる患者様を救いたいと考えています。
“診療放射線技師は辞めるまで勉強”という言葉を忘れず、向上心を持って日々進歩する放射線技術学の知見を深め、その技術と知識を持って患者様を救うために貢献していきます。これからも頑張ります！

玉置 真菜さん
智辯学園和歌山高等学校 出身



1年次生対象 就活ガイダンス

マシュマロチャレンジ！
チームで協力して一番高いタワーを作ろう！



- ①コミュニケーションを考える（伝える力）
- ②PDCAサイクルを考える（考える力）

上記2つのテーマに沿って、1年次生を対象に、西教授による就職ガイダンスが開かれました。

ワークショップでは、「マシュマロチャレンジ」を数名のチームに分かれて、2回行いました。

1回目と2回目のチャレンジの間に、振り返りの時間を設け、PDCAサイクルを実施することで、2回目では一段と高いタワーを作り上げることができました。

優勝チームは約70cmのタワーを作ることができ、チームで丸一となり、共通の目的に向かい協力し合った時間は、将来の就職活動に向けての確かな一歩になったことでしょう。



パチパチ



優勝したEチームには景品の贈呈がありました！

パチパチ

2023年度一般選抜概要

選考区分		募集人数	出願期間	試験日	試験会場	合格発表
一般選抜	前期	30	1/5 (木) ~ 1/19 (木)	1/22 (日)	本学もしくは 名古屋会場	1/25 (水)
	中期	10	1/30 (月) ~ 2/16 (木)	2/19 (日)	本学	2/22 (水)
	後期	若干名	2/27 (月) ~ 3/9 (木)	3/12 (日)	本学	3/12 (日)
試験の内容	一般選抜 (前期)	筆記試験(数学Ⅰ・Ⅱ) 90分 全員に面接試験(グループ面接、10～15分程度)を実施します。				
	一般選抜 (中期)	筆記試験(数学Ⅰ、生物のいずれか1科目を選択) 60分 全員に面接試験(グループ面接、10～15分程度)を実施します。				
	一般選抜 (後期)	筆記試験(小論文) 60分 全員に面接試験(グループ面接、10～15分程度)を実施します。				
評価方法		筆記試験、面接試験および出願書類を総合的に判断して、可否を決定します。				

2023年度オープンキャンパス

4/16
(日)

5/14
(日)

6/4
(日)

7/16
(日)

8/27
(日)

【プログラム】

学長挨拶、大学紹介
入試概要説明、在学生との相談会
各種個別相談、施設案内



ご参加いただいた方には
オリジナルグッズプレゼント!



【開催場所】

大阪物療大学 1号館
〒593-8328
大阪府堺市西区鳳北町3-33



JR鳳駅から
無料送迎バスあり!



※開催日程・内容につきまして、変更となる場合がございます。
最新の情報は、本学HPをご確認下さい。



《お問い合わせ先》
大阪物療大学 入試課
TEL : 072-260-0095 MAIL : kouhou@butsuryo.ac.jp

